

# 会 議 録

## 1. 会議名

第5回仙北地域協議会

## 2. 議題（公開・非公開の別）

- 報告 （1）地域枠予算について（公開）  
（2）柵の湯関係について（公開）  
（3）地域づくり活動団体補助金について（公開）  
（4）検診結果状況について（公開）  
その他

## 3. 開催日時

平成19年1月25日（木）午後4時より

## 4. 開催場所

柵の湯『大広間』

## 5. 傍聴人の数

0人

## 6. 出席したものの氏名

委員：池田武、熊谷政子、佐々木忠雄、佐藤昇、進藤豊和、千葉嗣助、戸澤龍悦、  
池田佐喜男、黒澤三郎、小林千歳、小松田有佳、佐藤力哉、竹村正資、  
進藤勇吉

（委員14名出席、欠席4名）

仙北総合支所：根本支所長、高橋地域振興課長、藤原市民課長、佐藤建設課長、鈴木農林  
振興課長、小松仙北分室長、健康増進センター仙北分室塩谷主幹、  
熊谷地域政策考査員、地域振興課田口副主幹、同寺村主任、同池田主事

## 7. 発言内容

地域振興課長

### 【開会】

#### 第5回仙北地域協議会の開会を宣言

本日は大変お忙しいところご出席いただき有難うございます。本日の地域協議会は委員の2分の1以上が出席しておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第9条第3項の規定により本協議会は成立いたしますことをご報告申し上げます。

会 長

### 【会長あいさつ】

みなさん、こんにちは。お忙しいなかお集まりいただきまして大変有難うございます。合併してから二年が経とうとしております。報道によると平成19年度の大仙市予算が逼迫しているということが言われておりました。そんな中で来年度も地域枠予算の配分があるようです。今日の資料をみると平成19年度に向かって新たな地域予算枠の考え方等の報告が議事にありますので、皆様のご意見を伺いながら今日の協議会を進めて参りたいと思っておりますのでご協力宜しくお願いします。

支所長

### 【支所長あいさつ】

本日は、お忙しい中のお集まり、いただき大変有難うございます。改めまして、新春のお慶びを申し上げます。

今年は、大変穏やかな正月を迎え、それ以降も真冬日になることは少なく、20日の大寒の日は、3月頃の春を感じさせる陽気でした。昨年とは大違いで、一昨日の新聞でも「昨冬の豪雪はどこへ？」との見出しで、上段に大きく取り上げられ、「昨年まで秋田市で1月に8日間あった真冬日が、現在はゼロ」とありました。この様に仙北地域でも、毎朝の自宅の雪寄せが要らないばかりか、除雪車による除雪作業労力や経費も大幅に少なくて済んでおり、大変助かっております。昨年度の除雪費と比較しますと、昨年度は8,256万円でしたが、今年度は4,700万円前後で収まるのではないかと予測されております。現在の積雪量は13cm、昨年は147cm、一昨年は60cmでした。

一方で、寒中に暖かいと困る方もいる訳で、スキー場の関係者や凍み豆腐、干し餅を作る方、それに酒や味噌の仕込みをする方などが、平年並みの寒さを期待しているようです。

また、各地の冬祭りや小正月行事などにも、雪のない事による影響

がありますし、仙北地域での払田柵冬祭りや天筆行事などでも、これまでどおり行えるのか心配されるところです。

いずれに致しましても、暖冬であることは健康にも良いことで、死亡者も昨年と比べて減っているように感じます。単純には比較できませんが、12月の場合は17年は13人でしたが、18年は6人と言うように少なくなっております。雪寄せの労力が少なくて済み、運動不足になりがちなこと等の弊害はあるかも知れませんが、無理しなくて済み健康にも良いと感じております。

さて、本日の協議会は、この次第に記載されておりますように、報告4件のみであります。地域枠の扱いについて、19年度の方向付けも必要な時期であり、また、3月の協議会には、市長も出席しての予算執行方針等についての協議も控えておりますので、本日は活発にご協議いただき、来る19年度も地域が益々活性化できますよう願ひまして、挨拶とさせていただきます。

どうか、よろしくお願い申し上げます。

地域振興課長

それでは議事の進行を宜しく申し上げます。

会 長

それでは会議録の署名人を指名いたします。池田武委員、進藤勇吉委員にお願いします。

続いて報告事項に入ります。事務局の方から(1)の地域枠予算について報告をお願いしたいと思います。

熊谷考査員

【資料により説明】

会 長

それではこの地域枠予算についてご意見のある方いませんか。

戸澤委員

18年度の残額は、来年度に繰り越しになるのですか？

熊谷考査員

繰り越しにはなりません。3月までに要望があった場合には、この予算の中で実施していくこととなります。

会 長

まだ予算があるようなので、事業がありましたら要望して下さい。他にご意見ありませんか？

進藤(勇)委員

3回の地域づくり講演会を聴き、増田へ研修に行ってみて、現場の意見を聞く組織づくり、団体からの要望を聞く組織を立ち上げてもいい時期ではないかと思っておりますがいかがですか？

会 長

大変貴重なご意見が進藤(勇)委員から出されました。これまで

14件の地域予算枠の事業を行ってきましたが、執行された後の住民評価や意見を集約するような機会や組織があれば良かったと思いますが、熊谷考査員はどのようにお考えですか？

熊谷考査員

私の聞いた範囲では、18年度に実施した事業の中で一番喜ばれた事業につきましては、駐車場の整備事業が喜ばれております。駐車場についても、地域住民が参加して下地を作って、舗装を行うというような形でしたので、地域枠予算の考え方に一番一致している事業ではないかなと考えております。

今、進藤（勇）委員からご意見がありました件につきましては、資料の方へ課題として載せてあります。地域組織の形態についても地域の課題として事務局としての考え方を載せてございますけれども、これにつきましても今後は検討していかなければならない事項であると考えています。

進藤（勇）委員

資料の5ページの課題と現状に自治会の連合会の結成とありますがどういったものを想定しているのですか？また、増田で実施しているように、市役所職員を集落の活動に張り付けるなどの考えはあるのか伺います。

熊谷考査員

地域枠予算、地域づくりの考え方として、あくまでも基本は地域協議会の中で話し合っただけ進めていきたいと考えております。私も組織を充実をさせていかなければならないと感じておりますが、今、進藤（勇）委員からのご意見にありましたようなことが必要であるとすれば、今後、地域協議会の中で協議をしていただければありがたいと感じております。

会長

それぞれの集落の中で、総会や会議が開催されている集落などは地域協議会へ意見を出すことが出来ると思います。しかし、中にはそういったことが機能していないような集落もあるかもしれませんので、委員の方が、この協議会の内容を集落の会議の際に伝えていくことも重要ではないかと思えます。

千葉委員

一昨日神岡の委員の方と会う機会があり、仙北地域ではどういった考え方で来年度に臨むつもりですか？と質問がありました。神岡では自治会連合会の考え方を基本として臨んでいきたいということでした。仙北地域では残念ながらそういった機会もないし、今言われたような事情などあると思います。実際は自治会連合会を作る必要があると思えますが、19年度に向けて組織を作る訳ですが、基本的なことないままスタートすれば失敗する可能性が高いと考えました。

地域づくり講演会を3回開催していますが、1回目は私の集落から3,4名出席していましたが、2回目3回目はゼロでした。役員会、会議の際に私も地域コミュニティーについて話ししてはいるが、受け止めてもらえない。もう少しコミュニティーについて勉強しながら組織作りを進めていくべきではないかと思います。

**池田(武)委員**

先程増田の職員を集落の活動に張り付けるということでしたが、私の集落では佐藤建設課長から水道の事務局をいただいています。意識した訳ではないが、自ずと市役所の職員が集落の事務的なことを担っている状態ですので、コミュニティーの組織づくりについて考えていかなければならないと思います。

**黒澤委員**

集落の会長は持ち回り方式になっており、役目をこなすというのが現状です。リーダーを育てる機会があった方がいいと思います。

**会長**

確かに集落の行事をこなすのが精一杯だと思います。

池田(武)委員がおっしゃったように集落の役員の中に市役所の職員がいれば円滑に進むのではないかと思います。増田では各集落に必ず市役所の職員が入るということでした。そのことによって市役所の情報が集落に入るということで、大変に良い組織であると感じました。

この件について、皆さんからご意見を伺いたいと思います。戸澤委員いかがですか？

**戸澤委員**

私の集落でも市役所職員、JA職員がいますので非常に助かっています。ただ、リーダー的問題については年輩者がなっていて、地域のリーダーのなり手がいないという現実がありますので、育成が必要になってくると思います。

**竹村委員**

私の集落でも持ち回り方式でやっている関係上、なかなか意見の統一を図れない状況ですので、このような組織づくりが必要であると感じています。

**進藤(豊)委員**

話が逸れてしまうかもしれませんが、地域協議会は各団体の代表から構成された機関です。その中で今年初めて500万円の地域枠予算の検討機関ということで今年1年事業をやってきました。資料の事業一覧をみてみましたが、各自治体の声を直接反映するような、自治体連合会などの代表が委員にはなっていないけれども、駐車場の舗装などの各自治会組織に喜ばれる予算の使い方であったと思っています。

来年度の事業計画を立てる際には、出来ることなら仙北地域の町内会長、自治体の会長を集めて、地域枠予算について実績や対象となる

事業内容などを説明する場を設けてもらいたいと思います。その要望を汲み上げて地域協議会で協議していくという体制にしていけば良いと思います。

**佐藤（昇）委員**

このような資料があれば集落の会議の際に説明し易いのではないかと思います。又、19年度からは農・水と環境問題や新しい農政に変わります。それにもなって集落で話し合いをする機会が増えてきていますので、その際に地域予算枠や地域づくりについての話し合いが出来れば良いと感じています。

**佐々木委員**

会長は2年毎の持ち回り方式でやっています。会館の管理をするのが会長の主な役目で、総会は年間1回だけの開催となっております。集まりが少ないこともあり、誠に恥ずかしい限りですが、私が地域協議会委員であることを集落の全員が知らないかもしれません。機会がある毎に地域予算枠についての話をしていますが、なかなか意見をもらえない状態です。

ちょっとしたエピソードがありまして、池田氏庭園の参観の日にお茶の先生方が野点をしてくださるということで、用意をしていました。しかし、当日は生憎の天気により場所を大嶋の会館に変更して行いました。大嶋会館は畳も古くなっており、お茶の先生の和服に畳の解れが付いてしまって大変恥ずかしかったという集落の人の話を聞いたことがあります。このように会館の畳についての話し合いですら出来ていないという現状です。もし、できるならば会館の畳の申請をすれば許可なるものかと思ったりもしています。

**会 長**

ちなみに、私はお茶の方に携わっておりますが、お茶の先生方は野点では、少々汚れても良い着物を着てますので大丈夫ですので、安心して下さい。

**小松田委員**

私の自治会では集まるのが年に1回か2回でして、参加者を見ますといつも固定の方です。昔から住んでいる方は参加していますが、私の地域では新しい住宅が多くなっており、子育てしている世代の方は滅多に参加しません。参加してもただ話を聞いて来るだけという現状です。

資料にはいろんな年代から人材育成をと書いていますが、役所からアクションをおこなえば、若い人達は自分達の自治会という意識は育たないのではないかと思います。これからの課題だと思います。

**小林委員**

皆さんのお話を伺っていて、集落というのが自治会の一番の小さい集団だったということに気づきました。恥ずかしい話、私はこの地域

に嫁いってから約20年が経ち集落に溶け込んでいるつもりでしたが、今の集落の会長の名前もわかりませんし、どんな仕事をしているのかもわかりませんでした。

集落の新年会やゴミ拾いに家の者が誰か出席しなければ、協力してもらえないというような集団で、リーダーシップというのが全然頭に浮かびませんでした。昔からの習慣を新しい世代で変えていかなければならないと感じております。

#### 池田(佐)委員

私の集落では同じ人が会長や事務局をしておりましたが、同じ人だけが難儀するので、一昨年からJAの農家番号順に持ち回り方式にしております。

先程から話がでていますが、末端の意見を聞くとすれば、集落の会長を集めてコミュニティーの会議をするのが良い機会ではないかと思えます。ただ、末端の声を聞くとしましても、必ずしも集落の会長ではなく集落の代表のような方を集めなければいけないと思えます。このことについては検討する余地があると思えます。

参考になるかわかりませんが以前JAの運動会がありました。JAの職員がそれぞれ集落を担当しており、打ち合わせから反省会まで相談に乗りながら事業を実施していました。そうすることによって集落の人の顔を憶えることや、いろんな話を聞くこともできますのでJAの運営に大変役に立つことができました。増田の職員が集落に出向き事務的なことを行っている事例と似たような形ですので、これから検討していけば、旧仙北町がまとまり、そして意見も出てくるのではないかと思います。

#### 千葉委員

先程の意見に付け足しさせていただきますが、私達の集落では2,3年前から老人クラブ、婦人会、青年会、子供会などに補助金を出しています。しかし、婦人会や青年会についてはリーダーが不在ということもあり使いきれていない現実があります。また、電話料金などの自治会の補助金も消化しきれていません。

現在は、他にも圃場整備や環境整備の問題等も投げ掛けられている状態で、能力的にも時間が足りないと思えます。

#### 熊谷委員

私の集落では3,000円の部落会費の他に3,000円払っています。以前はその3,000円は会館の償却に充てていましたが、それが済んだ時点で、いずれまた建てなければならないということで、積み立てています。会館の畳の張替などは行政にお願いしようとは思いません。自分達が蓄えてるお金でやらなければならないと思えます。地域枠予算を活用できた団体や組織は組織化が進んでいると思えます。同じ人物が自治会長を長く務める弊害も充分承知ですが、2,3年交

代よりは、これからの事業を要望・提案していかなければならないので、自治会長は極力長い期間務めることが望ましいと思います。形だけの自治会長ではおぼつかないのではないかと思います。

会長

いろんな意見が出ましたが、各自治体に帰って検討することが必要かと思います。また、行政からもアドバイスをいただければと思います。それでは地域枠予算についてこれで閉めたいと思います。続いて資料の(2)柵の湯関係について事務局から説明をお願いします。

熊谷考査員

【資料により説明】

会長

ありがとうございました。何かご質問ありますか？

千葉委員

利用料金のこととは違いますが、私達がもらっている入浴券が3月31日で期限切れとなります。温泉施設が指定されていて、非常に使いにくいがどうかならないものですか？

支所長

利用券について、温泉施設が遠い地域の方については利用回数が少なく券が余るという声がずいぶんありますが、本人が利用するという事になっています。

また、利用券の後に8つの温泉施設を平等に使っていただきたいということで8施設を利用することができる2,000円の券を発行しました。しかし、遠い施設には行くことができないという声が多くあり、1施設だけでも使うことができるように弾力的となりました。

千葉委員

来年度の利用券についてはどのようなになっているのか？

支所長

来年度については、現在、新年度予算の市長査定の最中でありますので3月議会終了しないと皆さんに報告できません。

千葉委員

極論から言えば、せっかく車があるのだから、8つの温泉施設を回るようにして券を利用させるような施策が欲しいということです。特に大曲の場合は温泉施設がありません。昔の仙北町のように曜日によってバスを出して交通手段のない方にも利用できるようにもう少し突っ込んだ施策をするべきだと思います。

支所長

先日、老人クラブの会長方の市長と面談した際には、そのような話は出ませんでしたか？

千葉委員

もう少し突っ込んだ施策でも良かったのではないかという意見は出



ました。

会長

担当職員にこのような意見があったことを伝えて下さい。それでは、柵の湯関係について閉じます。

続いて資料の(3)地域づくり活動団体補助金について事務局より説明をお願いします。

熊谷考査員

【資料により説明】

会長

只今、地域づくり活動団体補助金について2団体の事業報告がありました。小林委員、何か補足がありましたらお願いいたします。

小林委員

実は小松田委員も一緒に活動しています。活動を始めて4年目になります。秋田市で読み聞かせをしたり真森苑、幼稚園などで活動しています。新聞にも三回ほど記事にさせていただいています。いつも同じ教材を使っているもので、幼稚園児には聞いたことある等など言われます。新しい教材があれば、バリエーションにとんだ楽しい読み聞かせができます。読み聞かせというと絵本などをイメージされると思うのですが、ハンドベルや音付きでイメージを膨らませたり、手遊びができたりする催しとなっています。

進藤委員

地域協議会の際に実際に読み聞かせをして下さい。

小林委員

喜んでやらせていただきます。

熊谷委員

私はこの活動を見せていただいたことがあります。すばらしいと思います。自分の時間も投げ捨てて、損得勘定抜きで活動している姿に、常に敬意を表しています。この方達はそれぞれの地域との交流もしながら活動していますし、何の異論もありません。

池田委員

資料にあるエプロンシアターとはどういったものですか？

小林委員

紙芝居をご存じですよ？画面がエプロンになっていて、エプロンのポケットからお人形を出したり立体的になっているものです。紙芝居と人形劇が合わさったようなものです。

会長

何か他にありますか？ないようですので了解を得たということで地域づくり活動団体補助金について閉じたいと思います。

続いて資料の(4)検診結果状況について説明願います。

塩谷主幹

【資料により説明】

会長

ありがとうございました。ちなみに肺ガンの発生者と喫煙との関係は100%ですか？

塩谷主幹

WHOや統計学的にはそのように言われております。決して必ずなるというわけではありませんので誤解のないようにお願いします。

千葉委員

特定高齢者は基本検診で判断するのですか？

塩谷委員

基本検診をもとに判断します。国では5%とっていますが、18年度仙北地域では6%でした。その6%の中から実際に筋力低下の予防するためのサービスで運動をしている人は5人です。3人が納得しないと出来ませんし、お医者さんが決めていきます。実際に納得をしてやりますと言われた人は5名ということです。人数が少ないように感じますが、実は新しい事業だったので旧8市町村の中では一番多い数字になっております。

進藤委員

すばらしい資料をありがとうございました。

熊谷委員

何らかの形で地域予算枠の中で増進センターの事業をできないかという思いもありますし、市民の健康のために私達ができることがあれば協力していきたいと思っております。とてもきめ細やかな資料でした。ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。それでは(4)検診結果状況について閉じたいと思っております。続いて(5)について高橋課長より説明願います。

高橋課長

【資料により説明】

会長

1月31日に行われますので是非参加下さいますようお願いいたします。他になにか報告がある方いらっしゃいますか？ないようですので(5)は閉じたいと思っております。

それではこれで第5回地域協議会を閉じます。

|

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名する。

仙北地域協議会署名委員

-----

仙北地域協議会署名委員

-----